

■国際観光コンベンションフォーラム

日本コンベンション研究会が主催し、全国の研究者、自治体、観光協会、コンベンションビューロー、観光コンベンション関連企業・施設等呼びかけ、MICE・集客交流産業のあり方・課題などを地域の立場から議論する場として、2006年から毎年度開催しています。2016年岡山、2017年新潟、2018年長崎に続き、札幌で開催するものです。

■日本コンベンション研究会とは

日本コンベンション研究会は、日本各地でコンベンション創造に関わる産学官の人士や、地域を拠点としてコンベンション創造を進めるさまざまな組織が連携する、全国的な研究組織です。

【会長】石森 秀三

(北海道博物館館長、北海道大学観光学高等研究センター特別招聘教授)

2019年

3月7日木・8日金

■開催概要

【開催地】北海道札幌市

【会場】札幌市民交流プラザ

〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目

TEL 011-271-1000

<http://www.sapporo-community-plaza.jp/>



札幌市民交流プラザ

【定員】130名(申し込み先着順)

【参加費】

A登録(意見交換会 参加)

●一般 12,000円(学生 6,000円)

●日本コンベンション研究会会員 8,000円
(学生会員 4,000円)

B登録(意見交換会 不参加)

●一般 10,000円(学生5,000円)

●日本コンベンション研究会会員 6,000円
(学生会員 3,000円)

オプション1...5,000円 8日(金)

エクスカーション & ミーティング(昼食含む)

オプション2...5,000円 8日(金) 交流会参加

【お問い合わせ・申し込み】

日本コンベンション研究会事務局

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西3丁目

札幌MNビル3階

(公財)札幌国際プラザ・連携推進課内

TEL 011-211-3676

FAX 011-232-3833

URL <https://www.japan-convention.net/>

E-mail info@japan-convention.net

お申し込みは研究会のホームページから

日本コンベンション研究会

SEARCH

東京オリンピックが開かれる2020年に
訪日外国人旅行者4000万人、
消費額8兆円を目標を実現する――、
今年7月、政府はこう発表しました。
2018年の訪日旅行者が3000万人を超えるのは確か。
しかし、そこからさらに1000万人を上積みするためには、
多くのハードルを乗り越えなければなりません。
これまでの取り組みを振り返り、
これからの課題をどう果たしていくか、
国際観光コンベンションフォーラム発祥の地である
札幌で議論します。

国際観光コンベンションフォーラム2019 in 札幌

日本MICE

その歩みと課題

【主催】日本コンベンション研究会、さっぽろMICE推進委員会 【主管】公益財団法人札幌国際プラザ、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク
【後援】観光庁、北海道運輸局、北海道、札幌市、日本政府観光局(JNTO)、一般社団法人日本コンgress・コンベンションビューロー(JCCB)、一般社団法人日本コンベンション協会(JCMA)、MPI Japan Chapter、北海道MICE誘致推進協議会(予定)

第1日 3月7日(木)

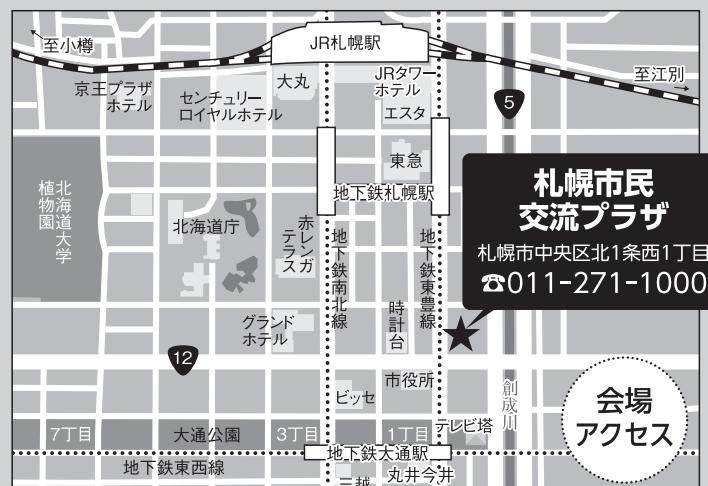
*市民公開

- 13:00 **開場** 〈会場：札幌市民交流プラザ 3Fクリエイティブスタジオ〉
- 13:30 ***国際観光コンベンションフォーラム 開会**
●主催者あいさつ 石森 秀三 [日本コンベンション研究会 会長]
- 13:40 ***特別講演I「Origamiが医療を変える」**
小さい頃から慣れ親しんだ「折り紙」を、再生医療や創薬などで活かす。今、世界から注目されているその取り組みをご紹介します。
●繁富(栗林) 香織 [北海道大学 高等教育推進機構 特任准教授]
- 14:30 ***特別講演II「被災現場から学ぶ防災・減災」**
「命、生活、文化」を守るため、被災現場から学び取れる防災・減災を学びます。
●柴山 明寛 [東北大学 災害科学国際研究所 准教授]
- 15:10 ***基調対談「日本MICEの歩みを振り返って」**
MICE事業に長らく携わってきた二人がその歩みを振り返り、次世代へ繋ぎます。
●川島 久男 [川島アソシエーツ 代表/ VISIT JAPAN 大使]
●森口 巳都留 [MICEジャパン 代表取締役社長]
- 15:50 **休憩** 〈会場移動〉
- 16:00 **分科会 —ラウンドテーブルミーティング**
◇第1分科会
「危機管理、そのときどう取り組んだか」
大きな災害が頻発する中、観光・インバウンドにとって必要な危機管理を、事例から考えます。
●コーディネーター 太田 正隆 [JTB総合研究所 主席研究員/ 東京国際大学 客員教授/ 慶應義塾大学 特任教授]
●話題提供 柴谷 学 [札幌市内ホテル連絡協議会 事務局長/ 京王プラザホテル札幌 副総支配人]
- ◇第2分科会
「MICEとIR、どう向き合う」
IR関連法案の成立を受け、本格的に動き出した日本。その中でMICEの役割、MICE活性化への効果を議論します。
●コーディネーター 小松 史郎 [集客都市研究所 代表/ 元東京都市大学 教授]
●話題提供 斎藤 大一 [(株)レイ MICE事業部 シニアチームリーダー]
- ◇第3分科会
「『人口』から地方創生を考える」
地方創生に向けては、移住など「定住人口」やMICEなど「交流人口」の拡大、さらに「関係人口」の構築へと、新たな取り組みも始まっています。地域の事例を学びます。
●コーディネーター 臼井 彦彦 [臼井事務所 代表/ 北海道大学観光学高等研究センター 客員教授]
●話題提供 中島 哲 [前にびきメッセ 専務理事/ 元益田市 副市長]
- 17:30 (終了予定)
- 18:00 **意見交換会** [A登録]

第2日 3月8日(金)

- 9:30 **開場**
- 9:45 **事例発表**
MICE 先進事例を学ぶ。
地域・全国の事例を発表します。
- 10:15 **パネルディスカッション**
「MICEの未来。誰がどう担っていくか」
今後のMICE振興に向けてコンベンションビューロー、DMOなどの推進機関や産業界がはたすべき役割と方向性を探ります。
●コーディネーター 穴戸 学 [日本大学 教授]
●パネリスト 小堀 守 [日本政府観光局(JNTO) 理事/ 日本コンgres・コンベンションビューロー(JCCB) 事務局長]
原 利一 [くにびきメッセ 事務局長]
嶋田 和泉 [福岡観光コンベンションビューロー マーケティング・ディレクター]
- 11:45 **全体総括**
●石森 秀三 [日本コンベンション研究会 会長]
- 12:00 **次回開催地 案内**
- 12:15 **閉会**
- 12:30 **オプション①**
エクスカッション&MICEサロン・ミーティング
〈出発〉エクスカッションコース:(バス移動)
12:45 屋食(サッポロファクトリー ビヤケラー札幌開拓使)
14:15 北海道大学博物館 見学
〈バス移動〉
- 15:30 **MICEサロン・ミーティング**
〈会場：北大北キャンパス「FMI国際拠点」〉
「MICEに求められる地域資源」
MICE分野において求められる地域資源も、SDGsやCSR対応、特別感のあるチームビルディング・ユニークベニューなど日々深化しています。地域資源の活用を議論します。
●ファシリテーター 難波 美帆 [北海道大学 客員准教授/ グロービス経営大学院 特任准教授]
●話題提供 松野 淑恵 [NPO法人コンベンション札幌ネットワーク 副理事長]
17:00 北大北キャンパス出発
17:30 札幌駅 到着
17:45 **オプション②**
交流会

※プログラム、講師、会場等は、都合により変更となる場合があります。



■ 宿泊ホテルのご案内

宿泊施設については、下記HPをご参考のうえ、直接お申し込みください。

札幌市の公式観光サイト「ようこそSAPPORO」

[札幌の宿泊施設]

<http://www.sapporo.travel/choose/hotel/station/>